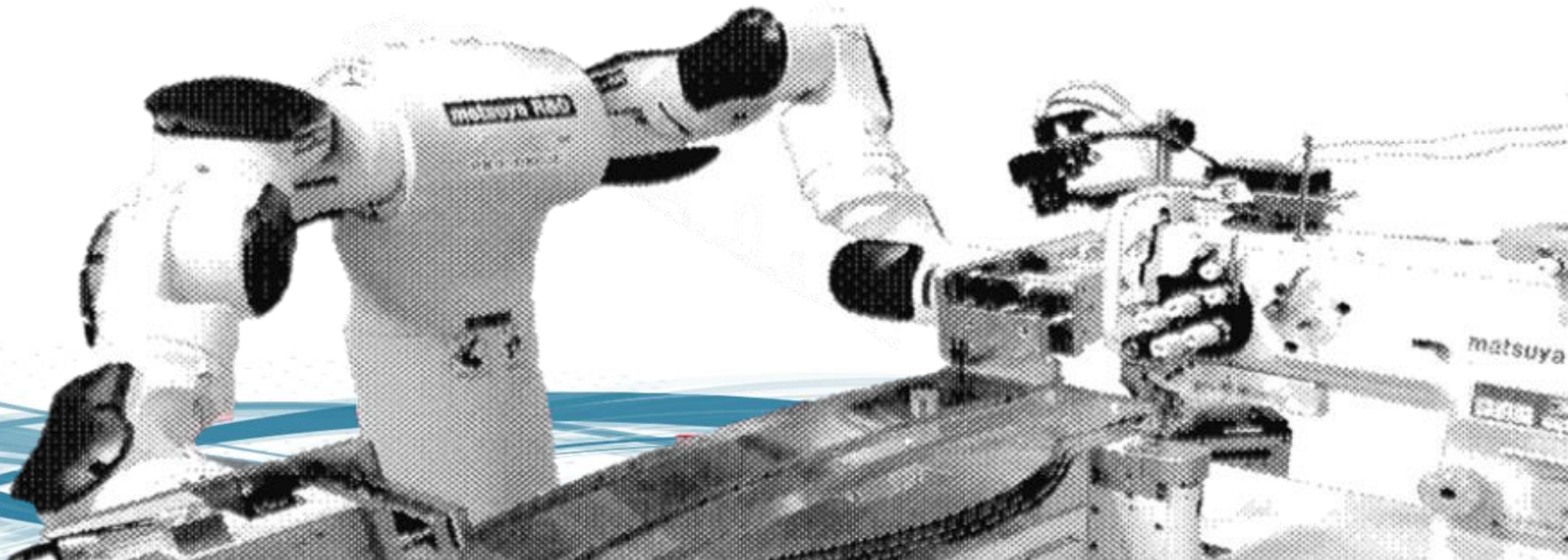
株式会社松屋アールアンドディ（証券コード：7317）

2023年3月期
決算説明会資料

（２０２３年５月）



Copyright©2022, Matsuya R&D Co., Ltd. All rights reserved.

1.2023年３月期実績

2. 成長戦略

2023年３月期実績：サマリー

MATSUYA R&D
Think sewing Think future

・中国のロックダウンや半導体不足によるメーカーの生産稼働停止の影響を一部の工場で受けるも、円安の影響のほか、主要工場であるベトナムでは安定的に稼働できたことから**増収増益**となった。
・縫製自動機における新規受注、エアバッグ事業の新規生産開始により、売上増加となった。

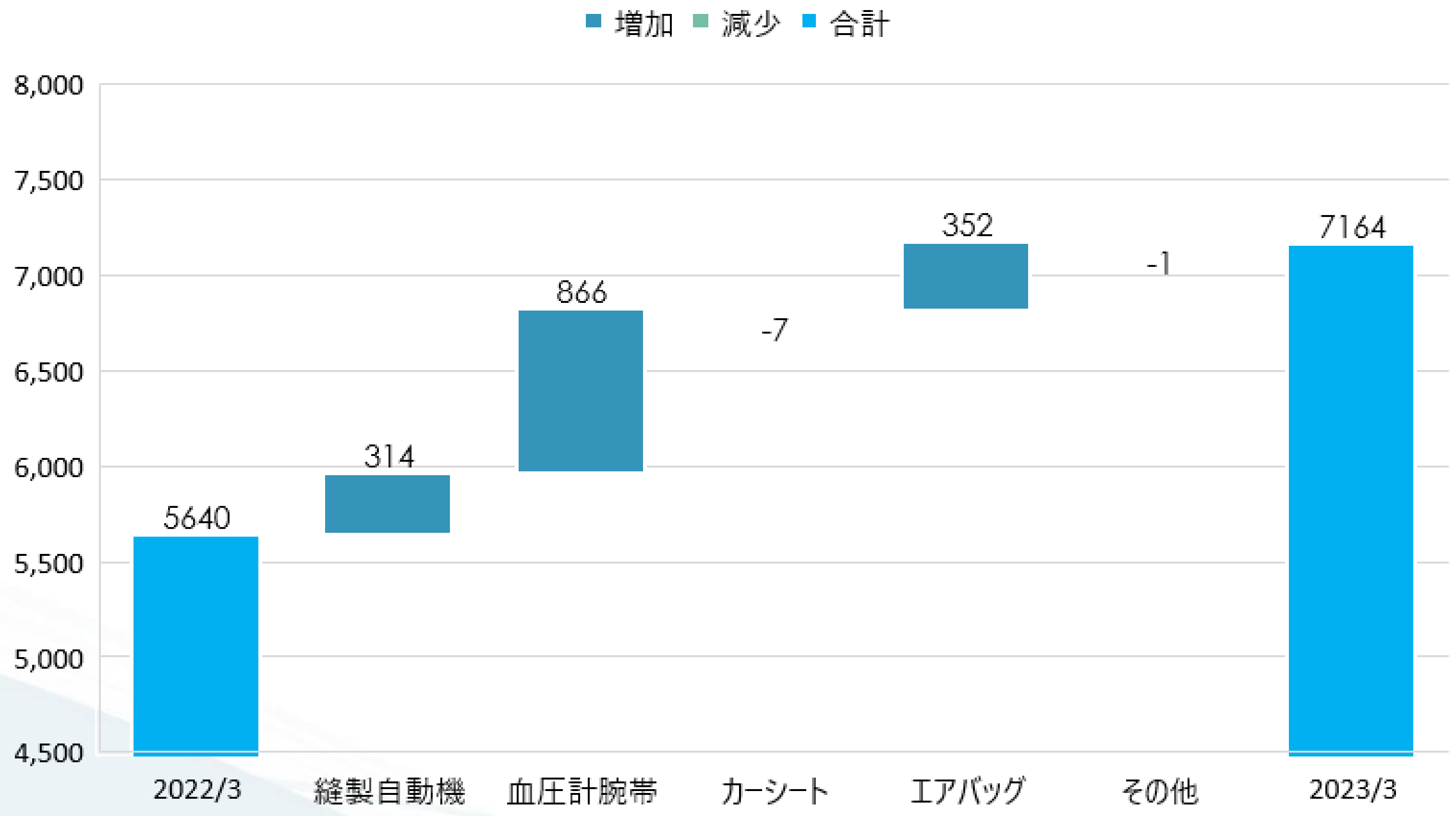
	2022.3 実績（百万円）	2023.3 実績（百万円）	前年同期比
売上高	5,640	7,164	127.0%
売上総利益	1,187	1,458	122.8%
売上総利益率	21.1%	20.4%	△0.7
営業利益	355	611	172.2%
経常利益	408	675	165.2%
税金等調整前当期純利益	291	671	230.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	165	425	257.5%
１株当たり当期純利益（円）	31.42	80.67	256.7%

2023年３月期：セグメント別売上高＆利益

・メディカルヘルスケア事業においては、上半期において血圧計腕帯が中国のロックダウンや半導体不足の影響を受けたものの、下半期から回復し、円安の影響もあり、増収増益となった。
・セイフティシステム事業においては、コロナ禍及び半導体不足による自動車メーカーの生産停止の影響を受けたが、縫製自動機における新規受注、エアバッグ事業の新規生産開始により、売上増加となった。

	2022.3 実績 （百万円）	2023.3 実績 （百万円）	前期比
売上高	**5,640**	**7,164**	**127.0%**
メディカルヘルスケア事業	4,302	5,134	119.3%
セイフティシステム事業	1,289	2,006	**155.6%**
その他事業	48	23	48.3%
セグメント利益又は損失(△)	**355**	**611**	**172.2%**
メディカルヘルスケア事業	960	1,221	**127.2%**
セイフティシステム事業	△330	△349	–
その他事業	△8	2	–
調整	△266	△262	–

2023年3月期実績：売上高の増減



縫製自動機：629百万円（前期比+314）
顧客のインド工場向けの案件が増加。

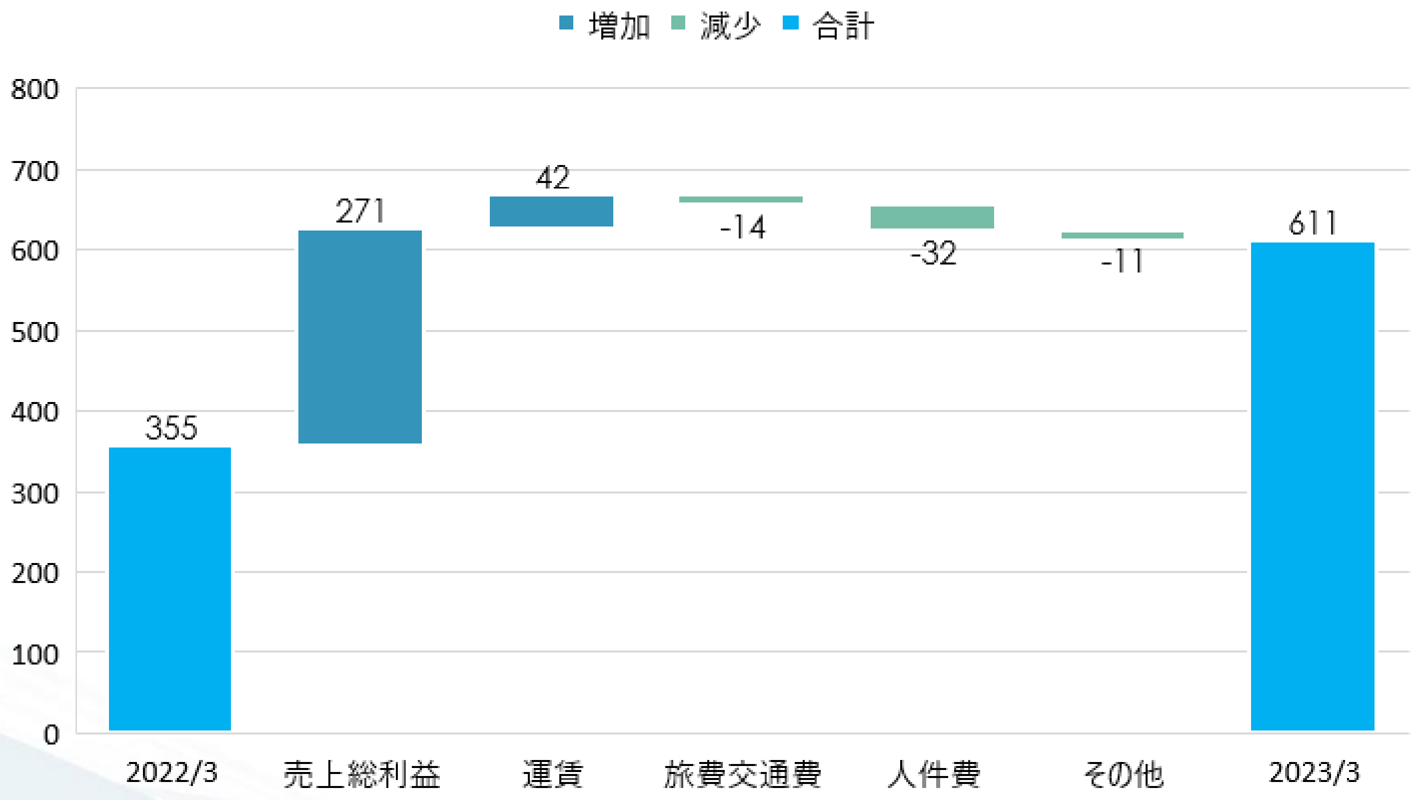
血圧計腕帯：5,092百万円（前期比＋866）
1Qの上海のロックダウンなどの影響あるものの、ベトナム工場の安定稼働により増収。

カーシート：866百万円（前期比△7）
自動車メーカーの半導体不足の影響や前半のコロナ禍による工場稼働停止が影響し、ベトナム工場の生産性が落ちた昨年とほぼ同水準となった。

エアバッグ：514百万円（前期比+352）
新規取引先との取引が量産開始となり、売上増加となった。

その他：61百万円（前期比△1）
車載向けストラップなどの製品。

2023年3月期実績：営業利益の増減



売上総利益の増加（前期比＋271百万円）
メディカルヘルスケア事業を中心に受注が堅調に推移したほか、コスト削減も行い、売上総利益が増加。

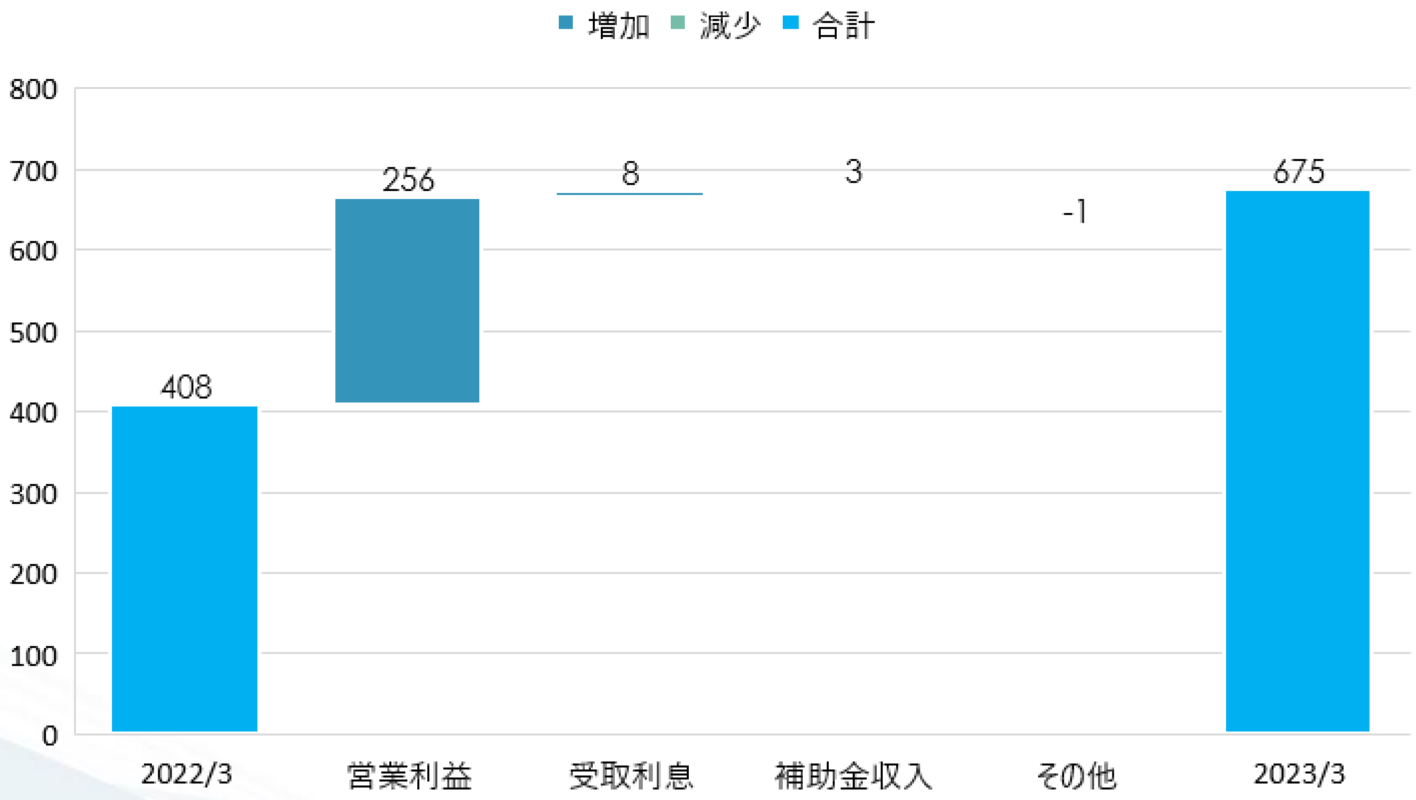
運賃の減少（前期比+42百万円）
運賃市況が大きく下落したことにより、運賃が減少。

旅費交通費の増加（前期比△14百万円）
年度後半よりコロナ禍での渡航規制が緩和されたことで海外出張が増加。

人件費の増加（前期比△32百万円）
海外営業、海外工場担当者を中心に採用活動を進めたことによる人件費増加。

その他（前期比△11百万円）
広告宣伝費などが増加。

2023年3月期実績：経常利益の増減



営業利益の増加（前期比＋256百万円）
メディカルヘルスケア事業を中心に受注が堅調に推移したほか、コスト削減も行い、営業利益が増加。

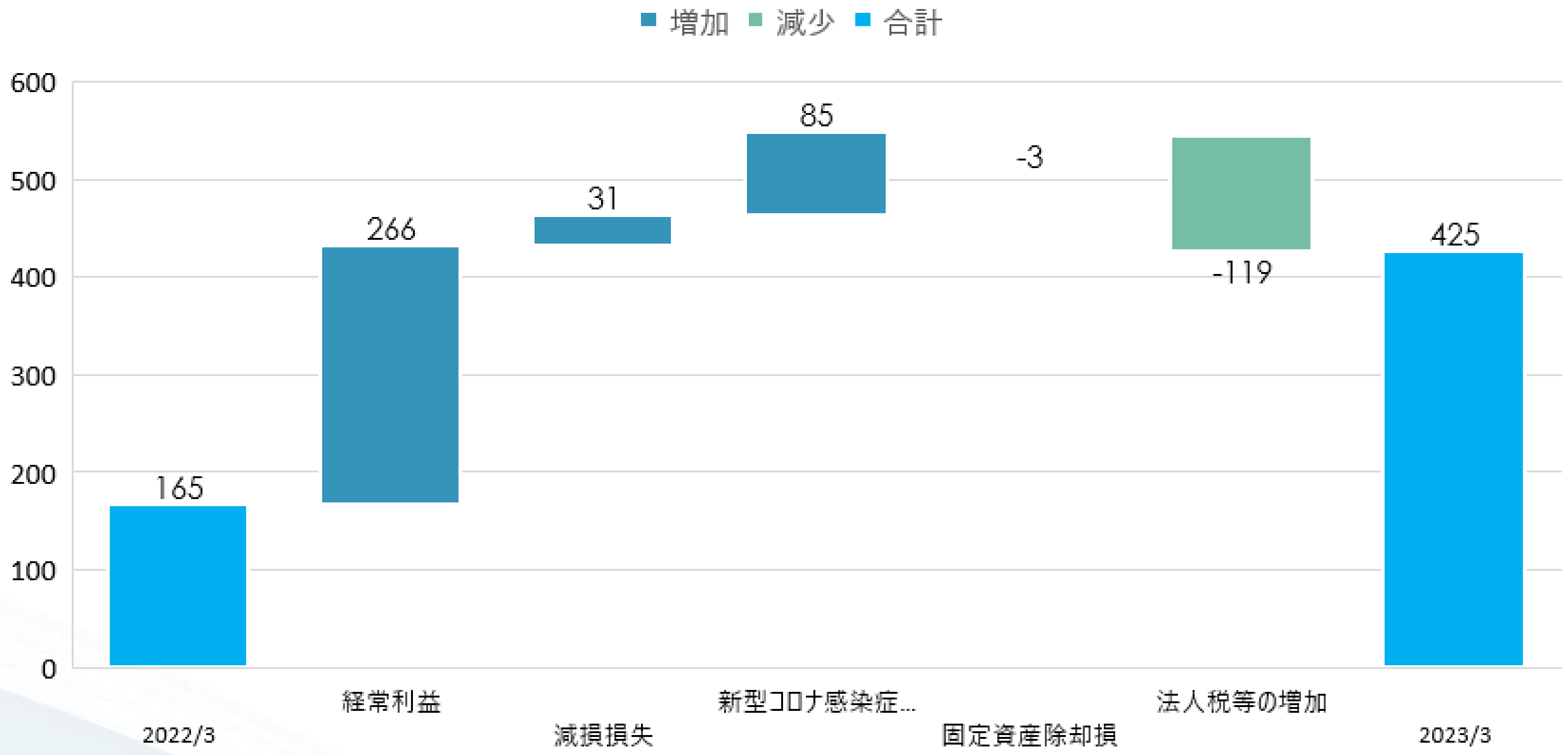
受取利息の増加（前期比+8百万円）
主に定期預金利息の増加。

補助金収入の増加（前期比+3百万円）
リハビリロボット（LunaEMG）によるDX関連の補助金収入によるもの。

その他（前期比△1百万円）
主に支払利息及び株式交付費など。

親会社株主に帰属する当期純利益

MATSUYA R&D
Think sewing Think future



経常利益の増加（前期比＋266百万円）
メディカルヘルスケア事業を中心に受注が堅調に推移したほか、コスト削減もあり、利益が増加。

減損損失の減少（＋31百万円）
前期に縫製自動機事業関連の固定資産の減損損失計上。

新型コロナ感染症対応の減少（＋85百万円）
前期にベトナムにおけるコロナウイルス感染症対策費用などの支出が計上されたもの。

固定資産除却損（前期比△3百万円）
固定資産除却損の発生。

法人税等の増加（前期比△119百万円）
利益増加によるもの。

MATSUYA R&D
Think sewing Think future

2023年３月期：連結貸借対照表

科目	2022.3 実績（百万円）	2023.3 実績（百万円）	増減要因
現金及び預金	1,492	2,343	**利益計上による手元資金の増加。**
売上債権等	1,367	1,351	
棚卸資産	2,544	2,324	
有形無形固定資産	1,190	2,403	**ベトナムの新工場建設費の発生による増加。**
その他	293	319	
資産合計	6,889	8,743	
仕入債務	663	586	
借入金（長期含む）	1,385	2,618	**ベトナムの新工場建設資金として銀行借入が増加。**
リース債務（長期含む）	423	468	
その他	1,179	1,295	
負債合計	3,651	4,968	
純資産	3,237	3,775	
負債純資産合計	6,889	8,743	

2023年３月期：連結キャッシュ･フロー計算書

MATSUYA R&D
Think sewing Think future

	2022.3 実績 （百万円）	2023.3 実績 （百万円）
営業活動によるキャッシュ･フロー	140	914
投資活動によるキャッシュ･フロー	△484	△1,279
財務活動によるキャッシュ･フロー	504	1,220
現金及び現金同等物の換算差額	10	△3
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	170	851

	2022.3 実績 （百万円）	2023.3 実績 （百万円）
減価償却費	229	268
設備投資	△464	△1,272

営業活動によるキャッシュ･フロー
主にメディカルヘルスケア事業の血圧計腕帯の受注が堅調なほか、ベトナム工場の安定稼働により大幅に増加。

投資活動によるキャッシュ･フロー
松屋ベトナムにおける新工場建設費の支払による増加。

財務活動によるキャッシュ･フロー
松屋ベトナム新工場投資のための借入実行による増加。

2024年３月期業績予想

・2024年3月期は円高の方向で見通しているものの（2023年3月期平均レート135ドル/円→2024年3月期予測125ドル/円）、セイフティシステム事業における取引先の増加により売上高増収を見込んでおります。
・ベトナム新工場の稼働を9月に予定しており、新規取引先の獲得及びコストダウンにも注力し、**最高益**※を目指します。

	2022.3 実績（百万円）	2023.3 実績（百万円）	最新予想（百万円）	増減率
売上高	5,640	7,164	7,400	+103.3%
営業利益	355	611	730	+119.3%
経常利益	408	675	700	+103.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	165	425	530	+124.5%
１株当たり当期純利益（円）	31.42	80.67	**100.35**	+124.4%
1株当たり配当金	5円	5円	5円	―

※2021年3月期のアイソレーションガウンの特需を除く

1. 2023年３月期実績

2.成長戦略

成長戦略
セイフティシステム事業、およびメディカルヘルスケア事業の拡大

MATSUYA R&D
Think sewing Think future

画像認識とAI学習機能搭載したロボットによる縫製熟練工不足解消と、
筋電図を使った画期的な脳梗塞リハビリロボット製造販売により、
セイフティシステム事業とメディカルヘルスケア事業を拡大する。

新たな業界への拡大

- Safety System
  - 画像認識とAI機能搭載した Sewing Robot開発
  - 画像処理システムによる 縫製品質自動検査
  - 生産管理システム開発による 製造効率改善事業
  - エアバッグ搭載可能な ドローンの開発
  - ベトナム生産受託事業の拡大
- Medical Healthcare
  - リハビリロボット製造販売事業
  - 医療用装置の開発
  - 最先端ウエアラブル機器

当社を取り巻く業界の変化予想及び今後の取組

MATSUYA R&D
Think sewing Think future

セイフティシステム事業

1） **国によるサプライチェーンの見直し**

（変化予想）

ローコスト生産品については賃金高騰が激しい中国やタイでの生産からベトナム生産への移管が引続き増加。

（今後の取組）

ベトナムでの受託先の拡大（ カーシート、エアバッグで新規事業開始）

MICにおけるエアバッグ、およびカーシート用生産管理システムの導入により、品質管理能力の大幅な向上を図る。

ベトナム国における新工場が稼働予定（2023年9月予定）

生産能力を大幅に強化するとともに工場集約によるコストダウンを図りながら、市場拡大に対応していく。

2） **大きな業界再編、大手企業のファブレス化**

（変化予想）

依然として先行き不透明な環境にある中、需要の大きな変化に対応するため、ファブレス化が進行。

（今後の取組）

積極的なＭ＆Ａ，業務提携の活用

当社を取り巻く業界の変化予想及び今後の取組

MATSUYA R&D
Think sewing Think future

セイフティシステム事業

3）　**設備投資回復の兆候**

（変化予想）

コロナ禍や半導体不足などで設備投資需要が減退していた中で、メキシコ、インド、ヨーロッパなどで設備投資需要が回復している傾向にある。

（今後の取組）

販売促進の強化、人材の多様化を図り、海外志向の人材を中心に採用を拡大し、営業体制を構築していく。

４）**開発途上国でもエアバッグ需要の急増**

（変化予想）

どこで誰が作っても、安定、均一の品質が求められるようになる。

（今後の取組）

ワーカーごとの能力差による品質のバラつきをなくすために、省人化、省熟化可能な自動機を製造開発。
カメラを使った縫製品質検査システムを事業化し、人に頼った品質管理を高精度化して、不良品流出を防ぐ。

当社を取り巻く業界の変化予想及び今後の取組

メディカルヘルスケア事業

1）　**血圧計の市場拡大**

（変化予想）

血圧計については今後も安定して市場拡大が見込まれる。

（今後の取組）

ベトナムにおける新工場が完成予定（2023年9月予定）

生産能力を大幅に強化するとともに工場集約によるコストダウンを図りながら、市場拡大に対応していく。

2）　**メディカルヘルスケア分野の拡大**

（変化予想）

高齢化に伴うリハビリ需要の増加と医療業界の人手不足

（今後の取組）

リハビリロボットLunaEMGの医療機器製造・販売をリハビリセンターや病院へ販促を開始。

最先端ウェアラブル機器について、他社と提携により、心拍数、体温測定等のセンサー及びＤＸシステムの開発

メディカルヘルスケア関連の自動機の開発・製造・販売（検査用スワブ自動機、医療用心臓人工弁の自動機開発など）

当社を取り巻く業界の変化予想及び今後の取組

MATSUYA R&D
Think sewing Think future

新規事業

1) **画像認識とAI機能搭載した Sewing Robot開発**

（変化予想）

熟練縫製工の不足による生産力ダウンと、それによる賃金高騰が進む。

（今後の取組）

AI機能と画像処理技術の革新を利用し、熟練工の動作を学習し、ロボット製造化を進める。

カメラを使った縫製品質検査システムを事業化し、人に頼った品質管理を高精度化して、不良品流出を防ぐ。

2) **生産管理システム開発による製造効率改善ソフトウエアの事業化**

（変化予想）

製造工程でもDX化が推進し、ワーカーごとの能力差を考慮した最適化生産管理と、品質改善のためのトレーサビリティ管理が進む

（今後の取組）

ベトナムMICにて最適なデバイスを選択し、どの工場でも標準に使える生産管理システムソフトウエアを自社開発し、

自社の工場に実施し、他社へのソフトウエアの販売のためのショールーム工場化をすすめる。

3）**ドローンの市場拡大**

（変化予想）

配達用など市場の拡大に伴い、安全装置としてドローン用エアバッグの需要が見込まれる。

（今後の取組）

エアバッグの搭載可能なドローン筐体の開発・製造・販売に注力する。

成長戦略
ベトナム生産受託事業の拡大：松屋ベトナム新工場建設着工

MATSUYA R&D
Think sewing Think future

2022年2月10日に開示しました、「事業拡大に向けての大型投資（20億円）に関するお知らせ」に関連して、新工場建設は予定通り進捗しております。

稼働予定としては2023年9月となります。

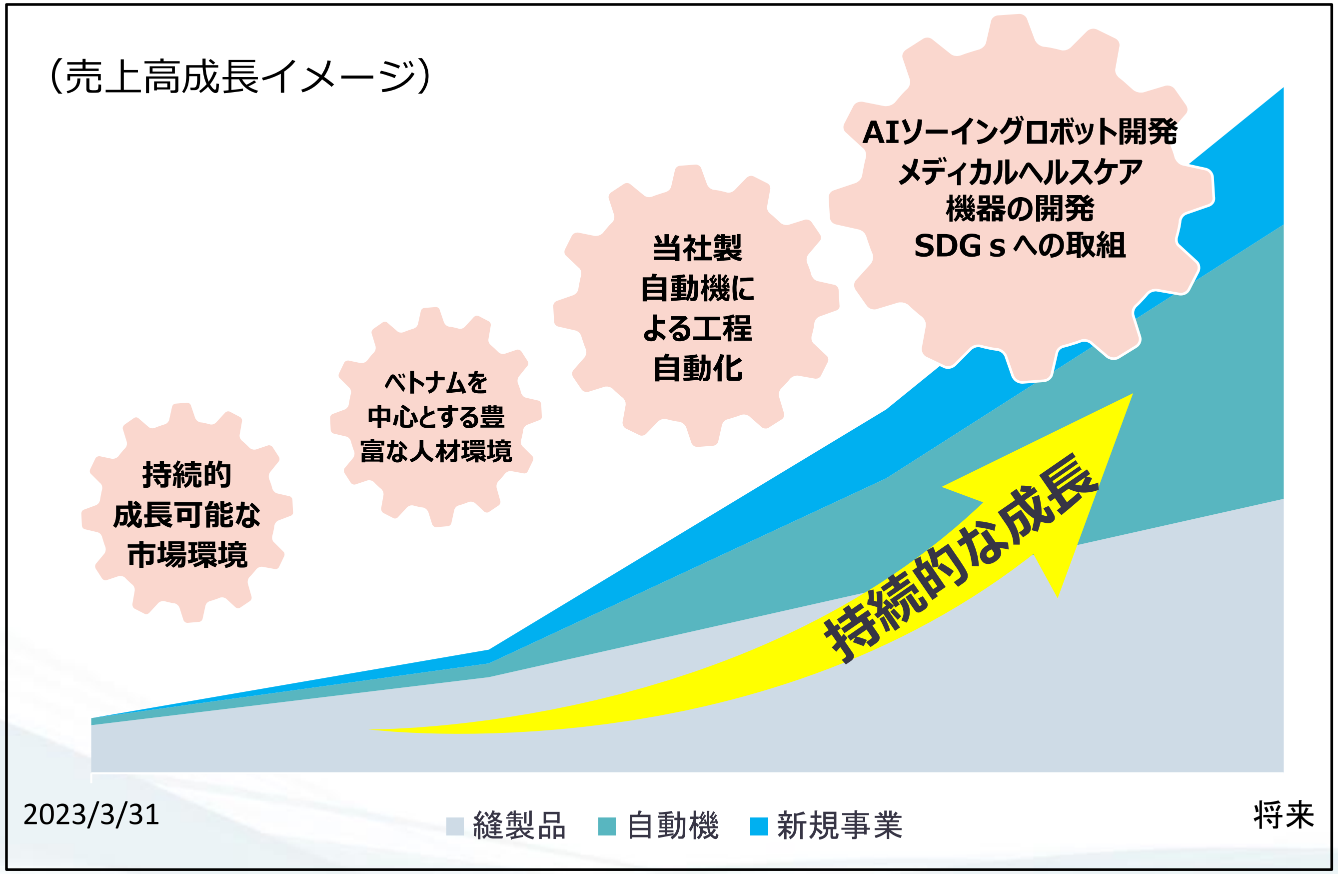
（新工場イメージ　土地面積41,634. 8㎡、建築面積約25,000㎡を予定）

（建設中の新工場全景）

成長戦略　成長イメージ

MATSUYA R&D
Think sewing Think future

安定収入を生み出すベトナムを中心とした生産基盤を活かし、次世代縫製自動機の開発及び新規事業を中心に経営資源を投入し、持続的な成長を目指します。



（新規事業）
- ・リハビリ関連事業への進出、ウェアラブル機器の開発
- ・生産生産管理システム開発による製造効率改善ソフトウエアの事業化
- ・エアバッグ搭載可能ドローンの開発・実用

（自動機の開発・製造・販売）
- ・画像認識とAI機能搭載Sewing Robot開発
- ・業務提携により次世代縫製自動機の開発促進を行う。
- ・欧米市場での販促強化

（安定した生産基盤）
- ・ベトナム及び国内における生産基盤を活かし、新規顧客獲得するほか、積極投資
- ・メディカル部門（血圧計腕帯、ウェアラブル等）の強化
- ・業務提携、M＆Aを視野にした事業拡大

本資料の取扱について

MATSUYA R&D
Think sewing Think future

本資料には、将来に関する見通しや、事業戦略が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性が含まれており、実際の業績等が、これらの見通しや予測とは異なる結果となる可能性があります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界、ならびに市場状況、金利、為替変動等の国内外の経済状況が含まれます。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等については当社は何ら検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

Copyright©2022, Matsuya R&D Co., Ltd. All rights reserved.